

令和7年5月31日現在 前月比
世帯数……2,823戸 (+26)
男性……3,596人 (-2)
女性……3,875人 (+34)
合計……7,471人(+32)

発行／庄原コミュニティセンター

出雲市斐川町庄原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

No.222
2025.7.22
(令和7年)

響き

つながる庄原 笑顔の未来
いかそう 人を 歴史を 資源を

健康

スポーツ部

5/31
(土)

高瀬山登山

主催 健康スポーツ部 庄原コミセン自主企画事業
共催 庄原小学校 PTA 保体部

～山頂から戦国時代の景色に想いを馳せる～

講師： 尼子十旗顕彰会城跡ガイド委員の皆様



高瀬山登山の参加希望者は117名！スタッフ合わせて総勢131名。小学校からの参加者は、大型バスでピストン輸送して集合。一度に登るのは難しいということで、60人ずつの2班に分かれ、ルートの順序を工夫して登りました。

道中の要所では城跡ガイドの皆さんによる詳しい説明がありました。二の丸跡や、曲輪(くるわ)と言われる開けた場所に到着

すると、PTA保健体育部の部長さん副部長さんが企画されたゲームやクイズで盛り上がりました。

実施日の2日前まで天気予報がころころと変わり、開催が危ぶまれましたが、当日は快晴となりました。眩しい青空と鮮やかな緑とのコントラスト、そして登山道を吹き抜ける爽やかな風の中、心地よい汗をかきながらの登山となり、頂上からは、出

雲平野を一望できる最高の景色を眺めることができました。

道案内と分かりやすい歴史の話をしてくださった宍道年弘代表他4名の城跡ガイドの皆様ありがとうございました。小学校PTAの皆様や「尼子十旗顕彰会」の皆様方はじめ多くの方に支えていただき、賑やかで楽しい活動になりました。本当にありがとうございました。



笹の葉って
いい香り！

6/6
(金)

笹巻き作り

自主企画事業

今年も庄原保育園・東部保育園の子どもたちと一緒に笹巻き作りをしました。

かわいい園児のためならと喜んで参加してくださった「ふれあい交流部」の部員さん、地域のみなさんのおかげで今年もたくさんの美味しい笹巻きが完成しました。

笹巻きを作らない、食べない家庭が増えてきました。この笹巻き作りは“笹巻きって何？”と尋ねる子どもがいない地域でありたいと願って行っています。短い時間ではありましたが「笹巻き作り」を通して出雲地方の食文化を再認識し、子どもたちと楽しく交流することができました。



ふれあい交流部



さつまいも・大豆の畑

自主企画事業

こども倶楽部



今年も、荘原幼稚園・荘原保育園・東部保育園の3園の皆さんと共に、さつまいもと大豆を育てます。畑を通して、土に触れる喜び、食べる喜びを地域のこどもに伝えていきたい……それが「こども倶楽部」の願いです。この号が発行される頃には、さつまいもも大豆もぐんぐん成長していると思います。



年々上々になってますよね!!



5/14
(水)

1

5/14(水)うね立て・マルチ張り。次週のさつまいも苗植えの準備を、荘原幼稚園・東部保育園の先生方と行いました。見事な連携プレー!!

5/22
(木)

2

5/22(木)お待ちかね!! さつまいもの苗植えです。わいわい楽しく植えました。植えた後には、たっぷり水をかけて、美味しいさつまいもがたくさん育つよう、みんな心待ちにしています♪

お散歩の途中で水をやって、成長を見守っています。

上手にできたかな?



6/12
(木)

3

草取りも頑張るぞ!!



6/12(木)草取りと大豆まき。この時期は、ちょっとの雨でも草がぐんぐん大きくなりますね……。畑作りは草との戦いでもあります。「こども倶楽部」部長の厳しい指導のもと、畑を打って、草取りをしてから大豆をまきました。暑い中参加して下さった「こども倶楽部」のみなさん、どうもありがとうございました!!



6/21
(土)

「子どもお花教室」スタート

今年度の教室は、小学1年生から5年生までの15名と講師の先生2名でスタートしました。「子どもお花教室」は、毎月1回、第3土曜日に行います。

「花の正面をどこにするかよく見てね。」「お花としっかりお話してね。」今年初めて参加した子どもたちは、先生の助言をしっかり聞きながら自分が選んだお花を活けていきます。継続して活動している子どもは、慣れた手つきで作業を進めたり、友達を手伝ったりしています。

出来上がった作品を前に並べて発表し、みんなで鑑賞し合います。また、一人ひとりに『お花ノート』が配布され、活動の様子を記録していきます。年に2回、文化祭の作品展示と3月末の展示会に向けて感性と技を磨きます。



6/10
(火)

「Showバラの会」花がら摘み

しょう ばら
Showバラの会

今年も大盛況だった「斐川バラのオープンガーデン」。荘原コミセンでは時々、「そちらはバラの綺麗なコミセンですか?」とお問い合わせの電話をいただくことがあります。今年は見事な満開のバラで皆様をお迎えすることができました。この時期にちょうど満開を迎えることができたのは、冬に「Showバラの会」のみなさんが剪定をしてくださったからこそです。

この日、咲き終えた花がらを摘んだところ、バラたちはまた元気を取り戻し、また新たな花を咲かせていました。小雨の中作業してくださった「Showバラの会」の皆さん、ありがとうございました!



5/29
(木)

「Showバラの会」視察研修

ステキな
庭に癒やされ
ました!



今年、広島市の「湧永満之(わくながまんじ)記念庭園」と「その花畑世羅高原花の森」に行きました。それぞれの地形や気候に合わせた見事な庭園で、見頃を迎えた薔薇は、それはもう美しく、ため息が出るようでした。それぞれの場所で、庭の手入れをされている方にお話を伺うと、やはり手間暇をかけておられることがわかり、とても良い刺激を受けることが出来ました。

1班 5/13 (火)
2班 5/15 (木)
3班 5/23 (金)

今年も元気に 「卓球バレー」に挑戦しました

ふれあいサロン
おいでませの会



5月の「おいでませの会」は、昨年度に行なって大好評だった「卓球バレー」に再び挑戦しました。「卓球バレー」とは……もともと障がいがある人のために考えられたスポーツで

- ・1チーム6人での対戦
- ・卓球台の周りに椅子を並べ、椅子に座ったままで対戦（立ち上がるのは反則）
- ・バレーボールと同じように3回以内に相手コートに返球する

などルールはありますが、白熱すると椅子から立ち上がる人が続出！その結果「楽しければ全てOK」という「おいでませの会ルール」が取り入れられ、熱戦が繰り広げられました。



1班 6/10 (火)
2班 6/19 (木)
3班 6/13 (金)

小学生と七夕交流(1班・3班) 介護予防講座(2班)



6月の「おいでませの会」は、1班と3班は莊原小学校1年生さんとの交流。1年生の児童さんから季節の歌「虹」のプレゼント、自己紹介、そして参加者全員で「たなばたさま」の歌を歌いました。その後はお待ちかねの七夕飾り作りをしました。短冊に願い事を書くときに会員さんやボランティアさんに文字を覚えてもらったり、折り紙の折り方を覚えてもらう微笑ましい姿があちこちで見られました。今年も元気な1年生さんからパワーをたっぷりいただきました。



2班は「デイサービス出東ララ」の職員さんに来ていただき、楽しい介護予防講座を受けました。

「般若心経」の音読、頭の体操(色の文字を読む、文字の色を言う)、連想ゲーム、最後に全員で「島根県民の歌」を歌い、まだまだ元気で過ごしましょうの言葉で終わりました。



5/18
(日)

5/24
(土)

バラカフェ

今年も「斐川バラのオープンガーデン」に合わせ喫茶を行いました。

5月18日(日)の「荘原コミセンこどもマルシェ」は、悪天候のため中止になりましたが、やまももの「バラカフェ」は、おいでませ館で開催しました。

駐車場で開催ができなかったため「オープンカフェ」とはなりませんでした。Saxophone Quartet 結(サクソフォンカルテット ユイ)の4人のメンバーによる気持ちが明るくなるサックスの演奏で来場者の気持ちが一つになりました。

5月24日(土)も悪天候のため、おいでませ館での「バラカフェ」となりました。



5/28
(水)

6/20
(金)

今年も大人気!

「やまももの会」特製「ゴキブリ団子」

春の天候不良により新たまねぎの生育が遅れたため、そのぶんゴキブリ団子作りも例年より一週間ほど遅くなりました。毎年購入しておられる方からは、「ゴキブリ団子、今年はまだですか?」という声をかなり聞きました。それほど地域に根付いた活動をしているのだと実感しました。

最初に作ったものがあつという間に売り切れたため残念がる方が多かったので、再度作って販売し、地域みなさんに喜んでもらうことができました。



お待たせしました!

6/29
(日)

喫茶やまもも「ハスカフェ」

ハスの花の満開時にあわせ、荒神谷史跡公園で、「古代ハスマつり」が開催されました。暑い中、喫茶やまもも「ハスカフェ」にも沢山のお客様が来てくださいました。若い家族連れや、普段の喫茶やまももでは会うことの少ない町外の方や、男性の方も多く、くつろぐ皆様の笑顔に私たちもパワーをもらいました。それぞれが持ち寄った花を飾り、ちょっとしたハブニングもありましたが、とても素敵な時間を過ごすことができました。



6/8
(日)

6/9
(月)

「やまももの会」30周年記念研修旅行

「やまももの会」30周年記念事業として、徳島・高知へと研修旅行に出掛けました。

初日は「大塚国際美術館」へ。陶器に名画の複製を再現した約1,000点の作品が並ぶ巨大ミュージアムで世界の名画を鑑賞しました。ミケランジェロが描く圧倒的なスケールの天井画・壁画には驚くばかりでした。

二日目は「高知県立牧野植物園」へと向かいました。NHK朝ドラ「らんまん」の主人公で植物学者の牧野富太郎博士が植物と共に過ごした

94年が紹介されていました。約8haの敷地内では3,000種類の植物を見ることができ、四季折々の美しさを満喫できる植物園でした。改めて多くの人々に植物の素晴らしさを伝えた富太郎先生の生き方に感心しました。

今回の研修旅行は、あいにくの雨模様となりましたが、少しでも日常を忘れエネルギーを充電することができました。このパワーを今後の地域社会づくり、地域の居場所づくりに活かしていきたいと思います。



5/27
(火)

「総会を開催しました」

令和7年度の莊原地区人権・同和教育推進協議会の総会が開催されました。令和6年度の活動報告と決算報告、そして地域の人権啓発のための令和7年度の活動計画案や予算案が承認されました。総会後は委員研修会が開催されました。



5/27
(火)

戦争は最大の人権侵害



今年度の委員研修会は、会長の須田英典さんが案内ガイドで旧海軍大社航空基地滑走路跡の見学会を行いました。

滑走路の跡地では、昭和20年3月の終戦間際に急いで建設され、その作業には、地元の小学生も動員され、草抜きをしたりセメントを塗ったりする作業をしたそうです。作業の時に付いた足跡も残っていました。滑走路は6月には完成し、そこから実際に爆撃機が沖縄に向けて出撃したそうです。「敵が待ち構えているところへ向かう兵士の気持ちはいかにばかりか…」と須田会長が話され、胸がひどく痛みました。



滑走路跡から場所移動し、山に造られた魚雷庫、新川鉄橋に残る銃弾痕を見ながら説明を聞きました。

戦争は他所で行われていたのではなく、この斐川に、そして人々の心に戦争による傷跡が深く残っていることに気づかされました。

今年はアジア・太平洋戦争終結80周年という節目の年を迎えます。残念ながら世界に目を向けると、各地で戦争や紛争、テロといった武力衝突が今なお絶えません。改めて平和の尊さを考える良い機会となりました。



5/19
(月)

莊原地区青少年育成協議会総会開催

莊原地区青少年育成協議会

★おめでとうございます★



総会に先立ち、「出雲市犯罪のない安全安心なまちづくり表彰」の受賞者3名の方々の表彰式が行われました。須田璋さん、錦織敦己さん、田中文子さんの3名は、「莊原子どもの安全を守る会」が発足した平成17年から今日まで、青色防犯パトロール隊員として、長年にわたり小学生の登下校の安全を見守って下さいました。

総会では、夏休みを中心に行われる様々な活動の計画案や予算案が承認されました。小学校、中学校の校長先生より児童生徒の現状についてのお話、斐川交番の山根一所長から、斐川町内の青少年犯罪の実態等についてお話がありました。



もっと知りたい★もっと好きになる荘原

まちづくり部

自主企画事業

6/21
(土)

4回シリーズの「ふるさと講座」が始まりました！

ふるさと講座①

「八雲とセツ」

講師 宍道正年さん



八雲とセツ、それぞれの生い立ちから出会い、共に過ごした時のことを、手作りの資料とご自身の著書「親子で学ぶ小泉八雲」を使って、二人の人となりを交



え細やかにお話しいただきました。八雲はこよなく日

本(松江)を深く愛し理解していたこと、セツは、地元の伝説や怪談の語り部としても八雲に大きな影響を与えたこと、松江で暮らしたのは1年と3か月と短期間であったことなど、興味が尽きない内容でした。八雲は、出雲大社や日御碕神社に行くため汽船を利用、わが荘原には3度立ち寄られ、そのうち一度は、荘原の「辰巳屋」に宿泊された、とのことでした。秋から始まるNHK朝の連続テレビ小説「ばけげん」が一層待ち遠しくなりました。



ふるさと講座②

フィールドワーク

講師 保科晴夫さん、深田和美さん

～八雲が訪れた荘原の町並みを歩く～

荘原の町にはかつて蒸気船の発着場があり、明治後期には宍道湖汽船の荘原の玄関口として賑わっていました。

今回のフィールドワークは「ふるさと講座」第2弾として、地元荘原の歴史に詳しい保科晴夫さん、深田和美さんを講師に小泉八雲と妻セツが訪れた荘原の街を実際に歩いて巡るものでした。

汽船町の船着場があった付近では、川幅や蒸気船がどこまで入っていたかなど詳しく聞くことができました。

参加者からは「実際に自分の足で歩いてみて初めて知ることもあり、暑い中ではあったが、参加して良かったと思えるフィールドワークだった」また、「講師のお二人が調べられた情報の多さにただただ驚いた」などの感想がありました。



7/4
(金)

5/26
(月)

出雲市環境保全連合会荘原支部

令和7年度 出雲市環境保全連合会荘原支部総会



5月26日(月)に令和7年度の総会を開催しました。昨年度の活動報告と今年度の活動計画について荘原の環境委員の皆様にお伝えし、今年度の活動がスタートしました。

あわせてリサイクルステーションのアルミ缶収益が荘原の環境美化に役立てられていることや、植栽美化活動に関すること、市民清掃活動の申請方法についてお知らせしました。みんなできれいなまち荘原を目指していきましょう。

6/8
(日)

宍道湖・中海一斉清掃

島根県で行う宍道湖中海一斉清掃に、出雲市環境保全連合会荘原支部も参加しました。5月26日(月)の総会時に荘原地区の環境委員の皆さんに呼びかけたとこ、27名の方々に参加していただくことができました。地元しじみ協会の皆さんや、わざわざこの日に参加するため事前に日程を聞きに来てくださった方もあり、皆で、新田下排水機場を起点にごみを拾いながら歩きました。

終了後、原秀範会長から、参加特典として宍道湖産の「しじみ」を頂戴しました！この取り組みに参加して、宍道湖の周りを綺麗にしてくださった皆さん、どうもありがとうございました。





写真でたどるあの日の荘原

Vol.8

まちづくり部



廃川後の 土手から見た 新川と町並み

新川の土手を中央に左側は新川と八雲橋、右手が荘原の町並みである。

松は観音寺と伊勢宮で、土手の中央には警鐘台が見え、町中には原酒造の高い煙突がある。(昭和14年～15年頃)

荘原コミュニティセンター「まちづくり部」では、引き続き皆様から懐かしい荘原の写真などの歴史資料を募集しています。ご自宅に昔の珍しい写真などありましたら、荘原コミュニティセンターまでご持参ください。

ありがとうございました

錦織竹香さんの 掛け軸を ご寄贈いただきました



我が荘原の偉人錦織竹香さんが描かれた掛け軸4幅(内1つ双幅)等、大変貴重な作品を、求院の青木英子様よりご寄贈頂きました。ありがとうございました。後日、特別に機会を設けて、皆さんに公開させていただきます。楽しみにお待ちください。



ありがとうございます

寿昌クラブ荘和会様 タオルのご寄附



「荘和会」の皆様から、沢山のタオルを頂きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

香典返し 金一封

ご寄付御礼

皆様からお寄せいただきましたお志は、荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。ご寄付は随時、荘原コミュニティセンターで受け付けております。

山根 透様(新川自治会)
錦織訓子様(中本町自治会)
永瀬崇史様(上宇頭自治会)
原 俊幸様(川東自治会)
田中光孝様(東町自治会)
井原俊彦様(グリーンタウン自治会)
深田昌生様(大井自治会)